



まつぶしの農業を 応援しよう！



松伏町は、昔から稲作中心の農業が行われ、美味しいお米が生産されています。町では、食の安全・安心を求める消費者の声に応え、安全なお米及び農産物の地産地消活動を進めています。

また、農業者の経営安定化などを推進するため、農業経営の法人化を進めています。

地産地消活動

■松伏町産の農産物

松伏町ふれあい農産物直売所(役場敷地内)では、地元で採れた新鮮な野菜や環境に配慮して育てられた特別栽培米などの農産物を販売しています。(営業時間：月～土曜日(祝日を除く)午前9時30分～午後5時)

直売所は、町内の農業者が自ら運営しており、農産物などの販売をはじめとして農業者と消費者の交流の場となっています。現在、さらなる地産地消活動を進めていくため、JAさいかつ松伏支店敷地内に、直売所を移転し、新たに開店する準備をしています。



役場敷地内の直売所



朝採りの新鮮野菜を販売

また、町内の事業所にもご協力いただき、松伏町産農産物を使った商品の開発等に取り組んでいただいています。



米粉を使用したまっぷーめん
(松伏町推奨特産品)

そば処桂

築比地1449-7

TEL 992-0487



米粉を使用したコッペパン
(松伏町推奨特産品)

ブランジェ・アプレ

ゆめみ野4-1-17

TEL 992-0290



いちごをふんだんに使用した
ショートケーキ

プードル洋菓子店

ゆめみ野6-1-50

TEL 992-4911

農業法人と6次産業

■農業経営の法人化と6次産業化

近年、農業者を取り巻く環境が劇的に変化しており、大規模な農業生産や農産物加工品といった取組が全国的に見られるようになりました。

松伏町においても、農業経営の法人化の動きがあり、平成25年度には大川戸地区の農業者が、農業法人として(株)あぐりスタジアムを設立しました。

このような法人化により経営規模を拡大することで、農産物の生産・加工・販売を行うことが可能となり、経営の多角化である6次産業化に繋がっていきます。



(株)あぐりスタジアム
(農業法人としていちごの生産、販売を始めています)

■農業経営の法人化により期待できること

▶農業経営の安定化

家計と経営が分離することで経営管理が徹底され、農業経営の安定につながります。

▶地域経済の活性化や雇用の創出

経営規模を拡大することで、経営の多角化が見込まれ、地域経済の活性化や雇用の創出が期待できます。

▶優良な農地の保全

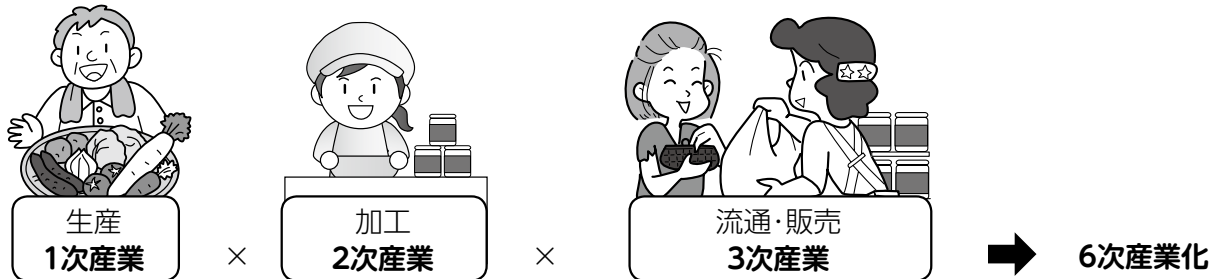
農業法人の事業として農業が継続され、優良な農地を保全できます。

▶農地の活用による産地の維持

優良な農地で農業が継続され、産地が維持されます。

■「6次産業化」とは

農業者が、農産物などの生産(1次産業)だけでなく、製品加工(2次産業)や加工品の流通・販売(3次産業)に取り組むことです。事業同士の連携を図る取組となるため、地域の活性化が期待されています。



農業に対するご理解とご協力について

食の安全・安心への関心から、新鮮な地場産農産物を消費したいという動きが全国的に見られます。

松伏町の農地を保全し、農業を維持・発展させるためには、農地や農業に対する皆様のご理解とご協力が必要となります。今後も、稲わらの野焼きなどの季節ごと農作業へのご理解や地場産農産物の消費へのご協力をお願いします。

第41回 農業収穫祭

松伏町で収穫された野菜の品評会や即売会を開催します。来場される皆さんが楽しめるようなイベントが盛りだくさんです！ぜひご近所お誘い合わせの上、ご来場ください。

■日時／11月30日(日)午前10時～午後3時(雨天決行)

■場所／県営まつぶし緑の丘公園

■内容

- ▶品評会で、上位入賞した出品物の展示及び即売
- ▶野菜などの販売
- ▶蒸かしたての美味しい小麦まんじゅう、焼きそばなどの販売
- ▶新米の無料配布(予定)
- ▶お米の計量大会、輪投げ大会等のイベント(一部有料)

